

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	局所進行膵癌(LAPC)症例に対する十二指腸ステントの有用性の検討
	研究目的	mGOO を伴う膵癌の中でも長期生存が考えられる局所進行膵癌(LAPC)における DS の有効性と安全性について検討を行う。
	研究対象者	2010 年 4月から 2019 年 10月の間に、当センター消化器内科肝胆膵にて膵癌に伴う悪性胃十二指腸狭窄に対し十二指腸ステントを留置した患者さん
	研究期間	西 暦 2020 年 9 月 7 日 ~ 西 暦 2021 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	消化器内科 部長 上野 誠
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	消化器内科 肝胆膵
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし